

公立大学法人公立鳥取環境大学平成30年7月豪雨に関する検定料免除規程

平成30年8月20日

公立鳥取環境大学規程第26号

(趣旨)

第1条 公立大学法人公立鳥取環境大学の授業料等及びその他の料金に関する規程(平成24年鳥取環境大学規程第53号)第2条の2に基づく検定料の免除については、この規程の定めるところによる。

(検定料の免除の対象)

第2条 検定料の免除の対象となる者は、公立鳥取環境大学(以下「本学」という。)の学部及び大学院研究科に入学(科目等履修生又は研究生としての入学を除く。)を志願する者のうち、平成30年7月豪雨により災害救助法適用地域において被災し、且つ、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合
- (2) 本人又は主たる学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、半壊又は流失の場合
- (3) 前2号に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

2 検定料の免除の対象となる入学試験は、平成30年度及び平成31年度に実施する全ての入学試験とする。

(検定料の免除の額)

第3条 検定料の免除の額は、当該料金の全額とする。

(検定料の免除の申請手続等)

第4条 検定料の免除を受けようとする者は、原則として、受験しようとする入試の出願開始日の前日までに、入学検定料免除申請書〔学部入試〕(様式第1号)又は入学検定料免除申請書〔大学院入試〕(様式第2号)に被災等を証明する書類を添えて、理事長に申請しなければならない。

2 検定料の免除を申請した者に係る検定料は、免除の許可又は不許可が決定されるまでの間は、徴収を猶予するものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、入学検定料免除申請書を提出する際に被災等を証明する書類を取得できない者は、検定料を払い込んだ上、入学検定料免除申請書〔学部入試〕(様式第1号)又は入学検定料免除申請書〔大学院入試〕(様式第2号)により、理事長に申請しなければならない。この場合においては、被災等を証明する書類を取得次第、提出しなければならない。

(検定料の免除の決定)

第5条 検定料の免除は、理事長が選考し、決定するものとする。

(免除の通知)

第6条 理事長は、検定料の免除の可否を決定したときは、免除を申請した者に対し、入学検定料免除に係る決定通知書(様式第3号)により通知するものとする。

(検定料の納付)

第7条 検定料の免除が不許可となった者(第4条第3項の規定により申請した者を除く。)は、本学が指定する期日までに、納付すべき検定料を納付しなければならない。

(検定料納付後の免除)

第8条 検定料を納付した後に、第2条第1項に該当する場合であって、特別な事情があると理事長が認めたときは、当該検定料を免除することができる。

2 前項の規定により検定料の免除を受けようとする者は、第4条第1項の規定に準じて理事長に申請しなければならない。この場合における申請期限については、理事長が別に定める。

(免除の決定取消し)

第9条 検定料の免除の決定を受けた者で、申請について虚偽の事実が判明した場合は、理事長がその決定を取り消すことができる。

2 理事長は、前項の規定により検定料免除の決定を取り消したときは、免除の決定を取り消した者に対し、その旨を入学料免除取消通知書(様式第4号)により通知するとともに、当該取消に係る検定料を徴収するものとする。

(委任)

第10条 この規程に定めるもののほか、検定料の免除に関し必要な事項は、理事長が別に定める。

附 則

この規程は、平成30年8月20日から施行し、平成30年8月1日から適用する。

入学検定料免除申請書〔学部入試〕

平成 年 月 日

公立大学法人公立鳥取環境大学
理事長 様

平成30年7月豪雨において、下記のとおり被災しましたので、必要書類を添付のうえ、入学検定料の免除を申請します。

志願者氏名 _____ ⑩

志望学部・学科 _____ 学部 _____ 学科

学資負担者氏名 _____ ⑩

続柄（ ）

学資負担者住所 〒 _____

連絡先（電話番号） _____

1. 申請する入試区分（該当する入試にチェックしてください）

- AO入試 推薦入試 一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
 海外帰国生徒特別入試 社会人特別入試 私費外国人留学生入試
 3年次編入学入試

2. 被災状況等（該当箇所にチェックしてください。）

（1）主たる学資負担者が、

- 死亡 行方不明

（2）本人又は主たる学資負担者が所有する自宅家屋が、

- 全壊 半壊 流失

3. 添付書類（該当箇所にチェックしてください。）

- 罹災証明書 死亡又は行方不明証明書 その他（ ）

- 省略（ _____ 入試の際に添付済）

（注）申請が2回目以降の場合は、証明書類の省略が可能です。1回目に出願した入試区分を記入してください。

入学検定料免除申請書〔大学院入試〕

平成 年 月 日

公立大学法人公立鳥取環境大学
理事長 様

平成30年7月豪雨において、下記のとおり被災しましたので、必要書類を添付のうえ、入学検定料の免除を申請します。

志願者氏名 _____ (印)

志望専攻 環境経営研究科 _____ 専攻

学資負担者氏名 _____ (印)

続柄 ()

学資負担者住所 〒 _____

連絡先（電話番号） _____

1. 申請する入試区分（該当する入試にチェックしてください）

- | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 一般入試（1期） | <input type="checkbox"/> 社会人入試（1期） | <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試（1期） |
| <input type="checkbox"/> 一般入試（2期） | <input type="checkbox"/> 社会人入試（2期） | <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試（2期） |

2. 被災状況等（該当箇所にチェックしてください。）

(1) 主たる学資負担者が、

- 死亡 行方不明

(2) 本人又は主たる学資負担者が所有する自宅家屋が、

- 全壊 半壊 流失

3. 添付書類（該当箇所にチェックしてください。）

- 罹災証明書 死亡又は行方不明証明書 その他 ()

- 省略 (_____ 入試の際に添付済)

(注) 申請が2回目以降の場合は、証明書類の省略が可能ですが、1回目に出願した入試区分を記入してください。

様式第3号（第6条関係）

平成 年 月 日

（申請者氏名） 様

公立大学法人公立鳥取環境大学
理事長

印

入学検定料免除に係る決定通知書

平成 年 月 日付けで申請のあった入学検定料の免除について、下記のとおり決定しましたので、公立大学法人公立鳥取環境大学平成30年7月豪雨に関する検定料免除規程第6条の規定により通知します。

記

決 定 内 容	検定料を免除する（しない）。
---------	----------------

平成 年 月 日

（申請者氏名） 様

公立大学法人公立鳥取環境大学
理事長

印

入学検定料免除取消通知書

平成 年 月 日付で通知した入学検定料の免除について、下記のとおり免除の決定を取り消しましたので、公立大学法人公立鳥取環境大学平成30年7月豪雨に関する検定料免除規程第9条第2項の規定により通知します。

記

取 消 理 由	申請について虚偽の事実が判明したため
今 後 の 取 扱 い	平成 年 月 日までに次の検定料の額を所定の振込用紙により振り込むこと。 検定料の額 円